

PMI® Global Summit 2024

2024年9月18日～9月21日 @Los Angeles

PMI日本支部法人スポンサー参加報告



日本情報通信株式会社
取締役 上級執行役員 データ&アナリティクス事業本部長
太田 秀生

アジェンダ

- 自己紹介
- 会社紹介
- PMI® Global Summit 2024 参加の背景
- PMI® Global Summit 2024 の現地イメージ
- セッションに参加して感じたこと
- 日本支部からの情報提供プログラムの活用
- まとめ

自己紹介



日本情報通信株式会社
取締役 上級執行役員
データ&アナリティクス事業本部長

太田 秀生

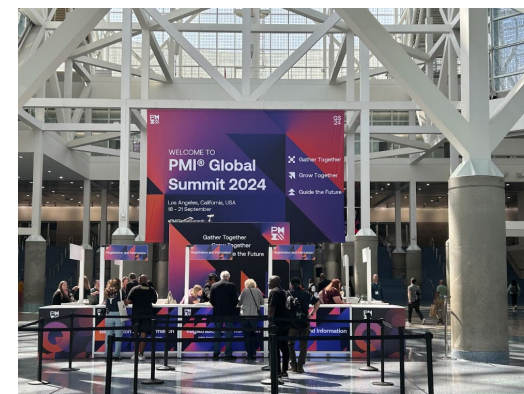


外資系コンピュータメーカーに入社
Host系IT基盤構築担当SE、基幹系業務アプリケーション
構築SE、長野オリンピックプロジェクトに参画、
その後、製造、金融、公益のお客様の大規模基幹システム
更改プロジェクトマネジャーを歴任

2022年 日本情報通信入社
SI事業担当を経て、データ&アナリティクス事業本部長

2002年PMP取得

PMI Global Summitは3回目の参加



日本情報通信のご紹介 略称：NI+C (エヌ・アイ・アンド・シー)



おもひをITでカタチに

設立

1985年12月18日

株主

日本電信電話株式会社(65%)
日本アイ・ビー・エム株式会社(35%)

社員数

1,323名(グループ計:FY24 4現在)

事業

システムインテグレーションサービス
ハードウェア、ソフトウェアの販売

売上高

490億円(FY23連結ベース)

業務システムの開発から戦略的データ活用基盤の構築、クラウド、オンプレミス、ベンダーを問わない基盤構築、社内外の基盤を繋ぐネットワークサービス、お客様間の業務を繋ぐEDIサービス、それらを支えるセキュリティや運用保守まで、数多くのお客様に弊社サービスを提供しております。



PMI® Global Summit 2024 参加の背景

PM需要が高まっているにも関わらず、PMのなり手が減少傾向にあり、今後の**PM育成に対する課題**が顕在化。
PMI日本支部の法人会員メリットも活かしきれておらず、踏み込んだ施策を模索していた。

社内 アンケート 結果

PMに対する多くのネガティブイメージのコメント

- プロジェクトを成功させるために納期や予算の厳守、メンバーの管理など、多くの責任をPMが負う
- お客様やビジネスパートナーとの折衝、見積、工程管理、判断、諸々の報告など、業務が多い上に関係者も多く大変なイメージがある
- PMスキルの必要性の認識が薄く、また具体的な習得の機会が少ない
事務作業が多く、骨が折れ、かなり大変そう。工数やコスト、人員の管理・最適化よりもテクノロジー方面に興味関心がある。技術的なタスクは少なく、開発ができず、テクニカルスキルを磨く機会が減少しそう。事務処理にかかる時間が長いイメージ。自分よりもはるかに優秀な人が、毎日夜遅くまで業務を行っているほどの作業量・・・等々

PM支援・ 育成の施策

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ①PMに関する情報不足 | ⇒ 業務ガイドの整備、資料の最新化 |
| ②PMスキル不足 | ⇒ PMチューター制度、PMコミュニティ |
| ③体力的にきつい、過酷、PM社内作業が煩雑 | ⇒ PM事務処理の支援チーム |
| ④重責、ストレス、孤独 | ⇒ メンタルケア相談対応、エスカレーション窓口 |

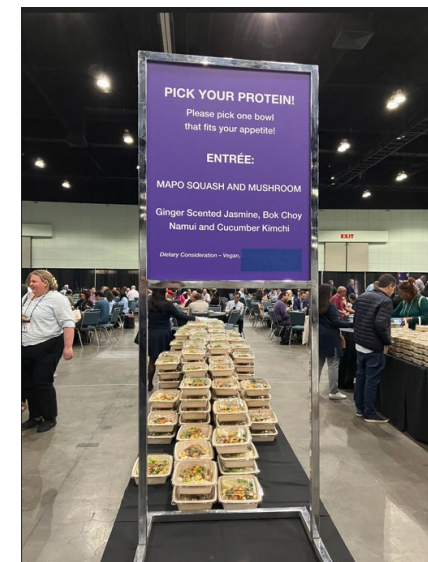
上記の施策を実施するも、PM志向の人が少ないのが現状である

参加背景

PMスキル向上、及びPMのモチベーション施策の一つとして、PMI Global Summitの参加の有効性を見極めるべく、PMを部下に持つマネージャーで視察を実施

PMI® Global Summit 2024 の現地イメージ

実際にPMとしてプロジェクト管理を行いながら、PMコミュニティ等で周囲の若手PMを牽引している2名の部長が参加。PMを取り巻く最新動向、多様性、明るい雰囲気と熱気をさまざまなセッションを通じて肌で感じた。



セッションに参加して感じたこと

※○の大きさは、席確保の難易度 および
満席率による**人気度（主観的体感）**を表しています

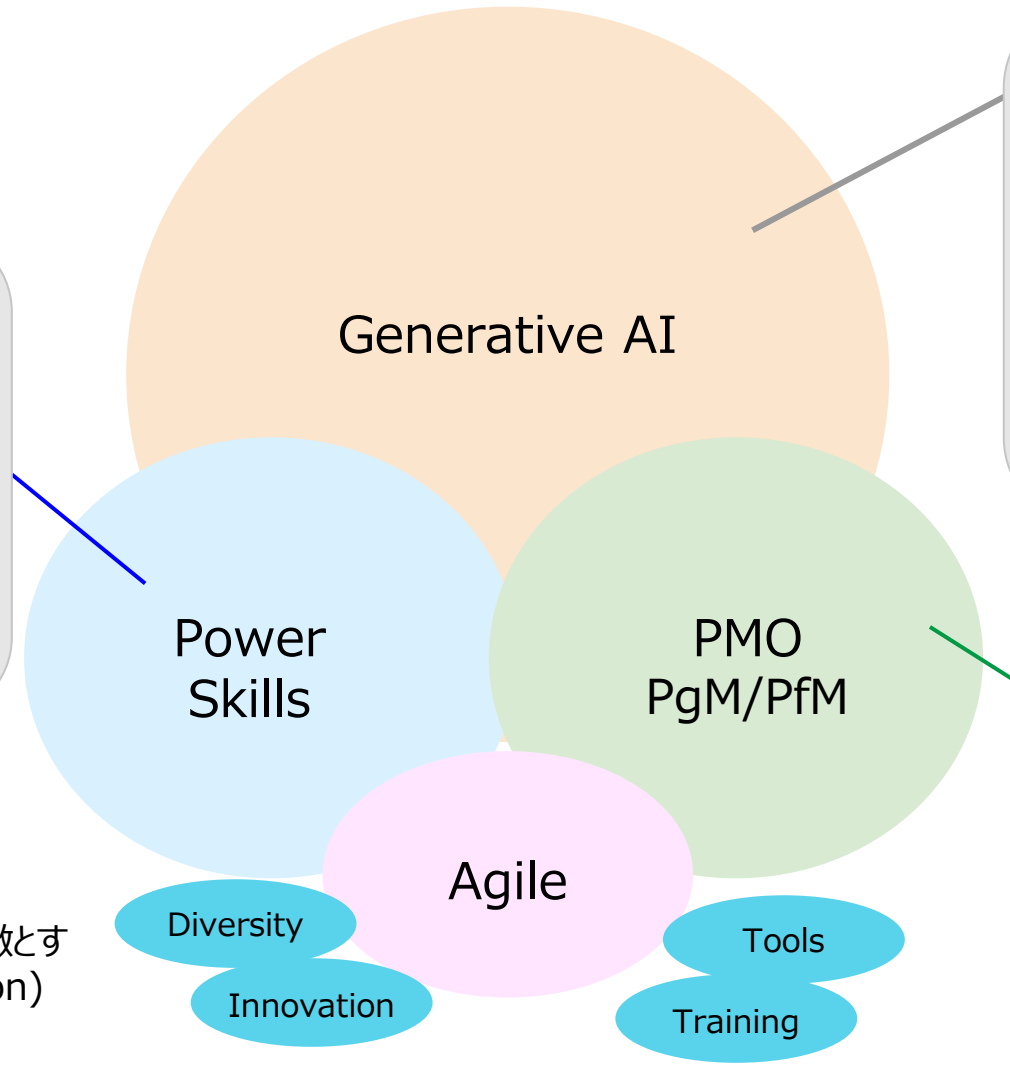
PMのあるべき姿の理解！

生成AIセッションに次いで、比較出席者が多かった印象。

AIでは出来ないこととして、リーダーシップやチームワーク等の**PMに求められるスキルの重要性を感じる**ことができた。

その他

- 女性活躍・アフリカのPMI活動拡大を象徴とするDiversity(多様性)・革新(Innovation)が活況



Globalのトレンドの理解！

プロジェクトマネジメントでのAI活用は注目はされているものの途上中の印象。

現時点で即応用利用できる使用方法は発表されていなかったが、**自社のレベルを客観的に感じることができる。**

リスク管理への活用が進んでいた。

現場PM以外での活躍の舞台がある！

生成AI、PowerSkillsと並んで打ち出していた印象。

あるセッションの出席者は、PM/PgM/PfMがほぼ同数であり、全世界でのPfMの注目度が高く、**日本との違いを認識。**
※展示でもPfM関連が多数あり

日本支部からの情報提供プログラムの活用

旅行手順の情報

Registration手順と渡航情報を日本語まとめ頂き、久しぶりの参加者・初めての参加者にはありがたい

- ・会場周辺のホテル情報
- ・日本からの参加予定者の情報共有
- ・Uber、ESTAなど、きめ細かい情報



Slackによる情報共有

事前に現地の情報を共有頂き、他社出席者と交流
現地到着後は、最新情報を共有頂けることが心強い

- ・現地の些細な生活情報共有
- ・広大な会場内の待ち合わせ
- ・講演資料の公開
- ・オンデマンド配信の視聴方法



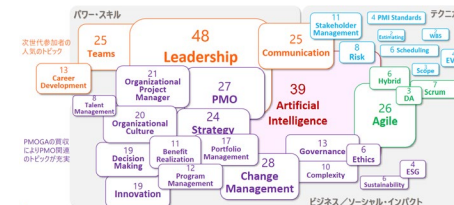
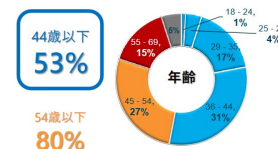
AsiaPacificネットワーキング会



- ・APからの参加者とのコミュニケーション
- ・日本からの参加者が多く日本語での意見交換
- ・講演者と直接会話
- ・帰国後の再会を約束

フィードバックセミナー

- ・参加者統計情報、セッション・トピックの分布イメージ等、参加で感じられた雰囲気の定量報告
- ・参加者レポート、インタビューに共感



まとめ（レコメンデーション）

参加背景

PMスキル向上、及びPMのモチベーション施策が必要で、
PMI Global Summitの参加が有効かどうかを見極めるべく視察を実施

参加所感

- 明るく、アグレッシブなプロジェクトマネジメントの学びの場である
- 普段接する機会のないプロジェクトマネジメント関係者との交流の場である
- 『Generative AI x Agile x リモートワーク』等の最新のマネジメント技法の理解
- 『パワースキル』の注目度の高さと重要性を再認識
- 『PMだけではないPgMやPfMの存在、経営におけるPM適用』の再認識
- 日本支部からの参加サポートがとても有効

PMスキル向上・モチベーションに向け
PMI Global Summitの参加の有効性を確認できた



ご清聴ありがとうございました